



令和元年6月24日  
練馬区立光が丘春の風小学校  
ひかりルーム No. 4



## ～夏休みは自分のことを自分でさせてみませんか～

起きてから寝るまでにしなければならないたくさんのことを、一つ一つ教えて子供にさせるより大人がする方が早く終わります。しかし、それではいつまでたっても自分でできるようにはなりません。時間がある夏休みだからこそ、時間に余裕があるときに、アドバイスをしながら、自分のことは自分でさせてみるとよいかもしれません。また、それをお手伝いすると「ありがとう」と感謝を伝えたり、褒めたりできる機会になります。ぜひ、試してみてください。

参照：『イラスト版子どものマナー』子どもの生活科学研究会〔編〕

### ①食事



**【お手伝いにも最適！】**  
家族全員分の配膳を用意する。



食後に、食器を洗い場に持っていく。

### ②洗濯



**【お手伝いにも最適！】** どこか一つの工程をしてもらってだけでも○。

- ①ポケットの中をチェックする習慣を付ける。
- ②靴下の裏などは、手洗いで洗濯機へ。(手先の運動にもなります。)
- ③洗濯物を取り込む。
- ④乾いた洗濯物は畳んで整理する。

### ③整理整頓



**【お手伝いにも最適！】**  
玄関で靴を脱いだら、履物を揃える。  
朝、もしくは夜に家族全員分の履物をそろえる。



- ・机の周りの整理をする。
- ・勉強時間の確認をする。
- ・照明を消して席を離れる。

### ★細かいことも教える

整理整頓と一口に言っても、どうしたらよいのなかなか分からないものです。押し入れなどにしまう時には、使う回数の少ない物を奥に入れる、新しい物を買った時に古い物を処分するといった片付けのポイントを子供に教えることが大切です。高学年になって、整理整頓されていない部屋に友達を通すのが恥ずかしいと感じるようになれば、自分からすすんで片付けるようになります。整理整頓のポイントだけは日頃から子供に教えておくようにしましょう。